

日独科学技術交流・平成18年度ベルリン日独センター科学技術賞・アンケ・クリューガ氏および野口博司氏に授与
 「ベルリン日独センターは、日独間の科学技術交流が深まることを切望している」。2007年6月29日にベルリン日独センターで開催された平成18年度ベルリン日独センター科学技術賞の授賞式で、ベルリン日独センター友の会のシュトック理事長（Prof. Dr. Günter STOCK、ベルリン・ブランデンブルク学術アカデミー総裁）は、このように述べた。

副賞としてそれぞれ5000ユーロを受け取ったのはアンケ・クリューガ（Jun.-Prof. Dr. Anke KRÜGER、キール大学）および野口博司（Dr. NOGUCHI Hiroshi、ユーリッヒ中央研究所）の両氏である。クリューガ氏は新しい炭素素材、とりわけ爆発合成法によるナノダイヤモンドの製造・精製に係わる研究および論文が認められ、野口氏は生物物理学およびソフトマターに係わる研究および論文が認められて、受賞にいたった。

授賞式ではトムゼン教授（Prof. Dr. Christian THOMSEN、ベルリン工科大学、写真右）およびブロイティガム教授（Prof. Dr. Matthias BRÄUTIGAM、ベルリン自由大学、バイエル・シェーリング・ファーマ、写真左）が祝辞を述べた。



ベルリン日独センター科学技術賞は、日独の若手研究者の自然科学研究を奨励するためにベルリン日独センター友の会が2005年に設けた賞で、優れた学術研究成果を論文に著したドイツ在住の日本人研究者および日本在住のドイツ人研究者各一名に毎年授与される。現在、平成19年度ベルリン日独センター科学技術賞推薦を受付中である。

ベルリン日独センター科学技術賞推薦募集

- 2007年度対象分野
 - 気候研究またはエネルギー分野の研究
- 受賞対象者
 - 学術的に優れた研究を著したドイツ在住の日本人研究者および日本在住のドイツ人研究者（40歳以下）各1名
 - 対象論文は、原則として博士号取得後に執筆されたもの
- 推薦受付
 - 以下の書類を2007年10月31日（必着）までに事務局宛て郵送のこと。
 - 1. 推薦文（対象論文がその研究分野の現況をどの程度まで網羅・反映しているか、何処に独自の研究視点があるか、如何なる本質的發展が認められるか等、詳細な推薦理由を記述のうえ、被推薦者の論文リストを添付のこと）5部
 - 2. 専門家紹介（学術的側面からの審査のため、当該分野専門家のうち対象論文に関する鑑定書執筆の用意があると思われる者2名を紹介のこと）
 - 3. 対象論文（過去2年以内に発表されたものに限る。5点以内）5部
 - 4. 被推薦者の履歴書
 - ・自薦は認めず、他薦のみ受け付ける。
 - ・数人の研究者による共同執筆の場合は、推薦する研究者の主たる業績を明確に示すこと。
 - ・一度推薦した者の再推薦を受け付ける。
 - ・推薦書類送付先（事務局） Japanisch-Deutsches Zentrum Berlin（ベルリン日独センター）
attn to Ms Tatjana Wonneberg（タチアナ・ヴォネベルク）
Saargemünder Str. 2, 14195 Berlin / Germany
E-Mail: twonneberg@jdz.de
- 選考方法
 - ベルリン日独センター友の会ワーキンググループ「自然科学作業部会」が推薦書類に基づき審査のうえ候補者を選び、ベルリン日独センター友の会理事会の承認を得る。
- 賞の授与
 - 2008年上半期に開催するコロキウム場で、授賞を行う。各受賞者に副賞として5000ユーロを贈呈する。